



【ゼミ生が作るゼミ紹介冊子】

國學院大學 経済学部

令和6年度開講 「演習Ⅰ」

経済学会学生委員会



<目次>

I. ゼミ個別ブース相談会について 3

1. 日時・場所 3
 2. ゼミ個別ブースに参加するまでの流れ 3
 3. 当日の注意事項 3
 4. ゼミ個別ブースのイメージ 3
 5. ゼミ個別フェアについて 4
 6. 参加ゼミ一覧 5
-

II. お知らせ 6

III. ゼミ紹介 7

I. ゼミ個別ブース相談会について

1. 日時・場所

- 5月8日(水) 12:00～16:30
- 5月14日(火) 10:30～16:30

[うちゼミ個別フェアは、両日 12:00～12:40 に実施]

※両日とも教室を使用し、対面で開催します。休憩時間は各ゼミによって異なります。教室にて確認をお願いいたします。

※参加するゼミと時間帯、教室は2日前の5月6日(月)までに基礎演習 LINE グループを通じて連絡します。

2. ゼミ個別ブース相談会へ参加するまでの流れ

1. 1年次の基礎演習 LINE グループと K-SMAPY II を通じて当日の参加ゼミと時間帯、教室配置表が届く
2. 参加したいゼミのブースがある教室に移動する
3. 相談し終わったら、次に気になるブース(教室)に移動する
4. 相談会の時間内で2～3の手順を繰り返す

3. 当日の注意事項

- 1つのゼミに人数が集中した場合、すぐに入室できない可能性があります。
※他のゼミを訪問してみてください。新たな発見があるかもしれません。
- 1ゼミあたり **20分**を目安にし、多くのゼミを見学して比較しましょう。
- ブースにいる先輩ゼミ生に積極的に質問してみましょう。
- 当日は、他の教室では授業が行われています。他の授業の妨げにならないよう以下のルールを必ず守ってください。
 - ①ブース内での会話のボリュームに気を付けること
 - ②ブース外での友達同士の会話は最小限とすること
 - ③廊下に滞留しないこと

4. ゼミ個別ブースのイメージ

- 1教室に5～6ゼミがブースを作っています。
- 各ゼミの教室配置は、1年次に使用していた基礎演習の LINE と K-SMAPY II を通じて連絡します。

5 ゼミ個別フェアについて

昼休み(12:00~12:40)の時間に限り、1つの教室に全ゼミが集結します！

(※一部不参加のゼミもあります。参加するゼミ、教室は2日前の5月6日(月)までに基礎演習 LINE グループを通じて連絡します。)

各ゼミ 1~3名のゼミ代表者と会話ができます。

- ・フランクに質問したい方！
- ・様々なゼミを知りたい方！

ゼミ個別フェアを是非ご活用ください！

5. 参加ゼミ一覧

ゼミ名	8日(水)	14日(火)
大西ゼミ	×	○
小木曾ゼミ	×	×
尾近ゼミ	○	×
尾崎ゼミ	○	○
小野ゼミ	○	○
木村ゼミ	×	×
櫻井ゼミ	○	○
東海林ゼミ	○	○
杉山ゼミ	○	○
高木ゼミ	×	○
高橋(克)ゼミ	×	○
田原ゼミ	○	○
中馬ゼミ	○	×
辻ゼミ	○	○
手塚ゼミ	○	○
中泉ゼミ	×	×
中田ゼミ	○	○
根岸ゼミ	○	○
芳賀ゼミ	○	○
濱田ゼミ	○	○
林ゼミ	○	○
藤山ゼミ	○	○
星野ゼミ	○	○
細井ゼミ	○	○
細谷ゼミ	○	○
水無田ゼミ	×	×
宮下ゼミ	○	○
山本ゼミ	×	○

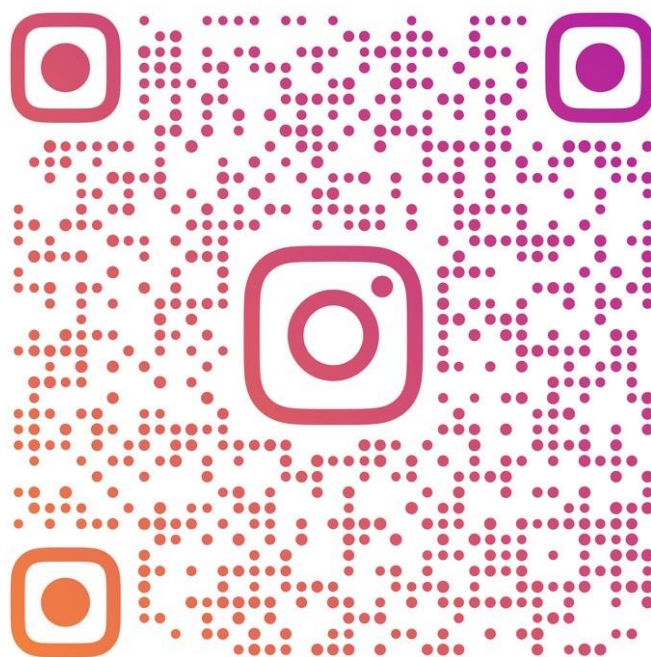
II. お知らせ

経済学会学生委員会の公式 Instagram で
随時情報を発信しています！

(5月1日から各ゼミの紹介動画・画像を配信予定です)

公式 Instagram

@kgu_gakusei



KGU_GAKUSEI

Ⅲ. ゼミ紹介

これ以降は、ゼミ生が作成したゼミ紹介文章になります。

ゼミ募集に関する公式情報は、学部の作成する「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」に記載されていますので、必ずそちらも確認してください。

大西ゼミ ……8	手塚ゼミ ……41
尾近ゼミ ……11	中田ゼミ ……44
尾崎ゼミ ……14	根岸ゼミ ……47
小野ゼミ ……17	芳賀ゼミ ……50
櫻井ゼミ ……19	藤山ゼミ ……53
東海林ゼミ ……22	星野ゼミ ……56
杉山ゼミ ……25	細井ゼミ ……58
高木ゼミ ……28	細谷ゼミ ……61
高橋ゼミ ……30	水無田ゼミ ……64
田原ゼミ ……33	宮下ゼミ ……66
中馬ゼミ ……36	山本ゼミ ……70
辻ゼミ ……38	

大西ゼミ

◆研究テーマ：労働経済

労働市場において不利な立場にある人々の実態を通して社会について考える

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ひと言でいうと...グループワークが多い、ゼミ生の主体性を重視している。
- ・ゼミ生について思うこと...メリハリのある人が多いため、話し合いが活発なゼミでありながら落ち着いた雰囲気。
- ・先生について思うこと...ゼミ生思いで優しい、ゼミ生のために適切な指導を下さる。



2. ゼミの志望動機

- ・社会的に不利な人がどのように社会で生きていくのか知る必要があると思ったから。
- ・実際に見学してみて、雰囲気が良かったから。
- ・日本の労働の現状を知りたかった。
- ・労働という言葉が身近に感じた。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・このゼミに入って良かったこと...グループワークが多いため、コミュ力が上がった。また、自分の興味あるテーマについて詳しく研究できる。
- ・オススメポイント...話し合いが活発で、ゼミ生が主体となっているため、主体性を磨くことができる。
- ・こんな人がこのゼミに向いている...話し合いが好きな人、一人での作業が得意ではない人が向いている。また、授業時間内で完結することが多いため、授業と自由な時間を分けたい人も向いていると思う！

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・ゼミ成果発表会の準備、および発表
- ・個人の研究

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・個人の研究
- ・フィールドワーク
- ・ゼミ合宿

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・個人の研究
- ・卒業論文の執筆

5. 年間予算

- ・2年次 約 3000 円（食事会）
- ・3年次 約 20000 円（食事会、フィールドワーク、合宿）
- ・4年次 約 3000 円（食事会）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- 深刻な教員の長時間労働
- 潜在的労働力を呼び起こすためには
- 『ブラック企業問題』に見る真・CSR
- フリーターの労働環境に介在する課題とその解決策について
- 保育士の低賃金問題の現状と改善策
- アニメ制作現場における労働問題の現状と課題
- 同一労働同一賃金の実現に向けて

- 技能実習制度の課題と展望
- 高齢フリーターの就労支援について
- 日本の所得再分配の改善をスウェーデンから学ぶ
- 聴覚障害者の働きやすい職場環境作り
- 技能実習生を巡る問題とその解決策について
- 外国人技能実習制度における労働環境と人権問題に関する研究
- 雇用型テレワークがさらに導入されるために必要なこと

尾近ゼミ

◆研究テーマ

社会分析の手法としてのマルチエージェント・シミュレーション入門とマイクロ経済学の学習

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

～授業内容について～

- ・プログラミングやマルチエージェントシミュレーションなどの授業で学ぶ内容は、沢山あるゼミの中でも随一の面白さだと思います。
- ・英語のテキストを使って勉強していくため、英語力向上につながります。助け合いながら進めるため、英語が苦手な人でも安心して学ぶことができます。英語を得意にしましょう。
- ・専門的な内容だけでなく、これから先社会に出た時に役立つ論理的思考力、言語化能力なども、勉強を通じて学ぶことができます。

～先生について～

- ・尾近先生はとても熱心で博識で優しい方で、生徒のやる気次第ではどこまでも成長することが出来ます。ゼミでは生徒の学習の理解を第一に考え、授業時間を過ぎていても生徒の質問には真摯に向き合ってくれます。また、先生自身も研究に対して貪欲な方で、時には生徒と一体となって同じ立場から経済学への理解を深めてくださる身近な存在です。

～ゼミの特徴～

- ・英語をただ学ぶのではなく、英語を使ってマルチエージェントシミュレーションという最先端の技術を学べること。プログラミングのスキルと共に経済の知識を得られること。論理的思考や言語化能力を身につけることができるような授業内容、授業形式であること。これらによって他の学生とは違った能力や特徴を持った人材に成長でき、この先の就職活動や社会に出た際に大きく役立つと思います。

2. ゼミの志望動機

～なぜそのゼミに入ったのか、何に興味があったのか、自分がやりたいことなど～

- ・ゼミ募集要項でみた「シミュレーション」、「プログラミング」、「統計学」という文字に惹かれて尾近ゼミに入りました。何よりシミュレーションで自分の世界が持てるというのが魅力的だと感じました。
- ・ゼミ選考の時期から、当時既に猛威を振るっていた新型コロナウイルスの感染拡大シミュレーションを行いたいと考えていました。マルチエージェント・シミュレーションを学

べば、人間社会において人間同士の行動がどのようにお互いの行動に影響しあうのかを研究できると思ったからです。

・プログラミングに興味があり、また就職活動や自分の将来に役に立つと考えたからです。
ゼミ希望 当時から一般企業に就職するつもりでしたが、業界などは決めていなかったの
で具体的な将来の展望は無かったです。

3. ゼミに入って感じたこと

～こんな人がこのゼミに向いている～

- ・英語を苦手から得意にしたい、英語力を更に向上させたい人
- ・優しい先生のもとで楽しく学びたい人
- ・勉強の習慣をつけたい人
- ・就職や社会生活で役立つ実践的なスキルや能力を身につけたい人
- ・勉強が苦手だけど頑張りたいと考えている人
- ・プログラミングに触れてみたい人
- ・最先端の技術を学んでみたい人
- ・レジュメを読むだけの退屈な授業が嫌な方にオススメ

4. 年間スケジュール

※昨年度、ゼミで勉強した内容について(演習 II、III についてはシラバスを参照してください)

●使用テキスト

1. Steven F. Railsback & Volker Grimm _Agent-Based and Individual-Based Modeling: A Practical Introduction_ Princeton: Princeton University Press, 2nd edition, 2019.

2. 小島寛之『完全独習統計学入門』ダイヤモンド社、2006年

3. コーリー・アルソフ『独学プログラマーPython 言語の基本から仕事のやり方まで』

・(1)はマルチエージェントシミュレーターの(=NetLogo)の使い方を学ぶテキストで、英語の学習も兼ねて、第5章までを輪読しました。

・(3)は Python のテキストで、コードの書き方を勉強して、プログラミングコンテストに参加しました。

・また、教科書とは別に AtCoder や gacco などの Web サイトや教科書を用いて、プログラミングやデータサイエンス、統計学、ゲーム理論について理解を深めました。

5. 年間予算

- ・教科書代 10000 円~20000 円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・ 『顧客獲得のために必要な差別化の程度に関する研究 -ホテリング・モデルによるシミュレーション分析-』
- ・ 『ゼロ・インテリジェンス市場の効率性に関する研究 -標準的なミクロ経済学に対する疑問-』
- ・ 『イノベーション普及速度のシミュレーション分析』

7. 自由記述

プログラミングやマルチエージェントシミュレーションといったとても面白いテーマを、実践的な授業形式で学んでいくことで、実践的な能力を身につけられるのが、このゼミの特徴です。楽しく学んで他の学生と差をつけたい人にオススメです。

少しでも気になった方はゼミ個別ブース相談会へ是非！！

尾崎ゼミ

◆研究テーマ：西洋経済史

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

・普段は自由に遊んでいるけどやる時はやるメリハリのあるゼミです。尾崎先生は気さくな方で優しく、類似性のあるテーマのみんなと意見交換やコミュニケーションも取れます。

・西洋史に限らず卒論のテーマの幅が広いので、自分が調べたいことについてしっかりと取り組むことができます。



2. ゼミの志望動機

- ・世界史が好きで、尾崎先生の経済史の授業が面白かったから
- ・欧米に対して関心があったから
- ・外国の民俗宗教などに興味を持っていて、そのような文化的な伝承について調べてみたい

3. ゼミに入って感じたこと

- ・主体性があればなんでも出来る！大学生らしい！
- ・自分が調べたいことについて深く調べることが出来ます！
- ・歴史が好き人が多い気がする。先生がよくお菓子をくれる。課題が重くないから、バイトやサークルなどと両立出来る。

4. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・卒業論文の大まかなテーマを考える（3年以降の変更○）



- ・各自或いは似た要素のあるテーマの人たちで参考文献を探す



2. 演習ⅡA・B（3年生）

・自身で決定したテーマについて更に深く調べる



・サマーセミナー（通学 or 合宿）



・卒業論文の執筆を始める



3. 演習ⅢA・B（4年生）

・卒業論文の完成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年		ゼミ個別 ブース 相談会	ゼミ面接 合格発表		夏休み 入ゼミ		大まかなテーマの 決定 (3~4人でのグ ループワーク)			後期 試験	春休み 参考文 献収集	
3年	参考 文献 発表	2年生へのゼミ紹介、面接 卒論執筆開始（早い人） サマーセミナーの打ち合わせ			夏休み サマーセ ミナー 夏季イン ターン		卒論執筆開始 就活相談 スプリングセミナ ー打ち合わせ			後期 試験	春休み 3月就職 解禁	
4年	就職活動 卒論執筆 卒論中間報告				夏休み		卒論執筆 卒論最終報告			後期 試験	卒業	

5. 年間予算

・参考文献費 ¥0~（実際は¥1,000~3,000が多い）

各自のテーマによって変化しますが、専門的な参考文献は大学図書館で探すこともでき、見つけられなかったものを書店で購入すると良い。教科書はありません。

・飲み会費用 ¥3,000~9,000

希望が多ければその分多く行われる予定。

・サマーセミナー

通学の場合は ¥0

合宿の場合は ¥30,000~（場所は要相談）

詳細はゼミ個別ブース相談会で

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・ 香辛料の歴史
- ・ メタバースが経済に与える影響について
- ・ キリスト教はなぜ資本主義を受け入れたか
- ・ かつての海賊からみる現代における掠奪経済の可能性
- ・ エバンゲリオンから見る聖書などとの関わり
- ・ フィットネスの歴史
- ・ イタリアにおける家具 ～デザインと産業～
- ・ ディズニープリンセスは女性の社会進出でどのように変化したか

小野ゼミ

◆研究テーマ：「企業研究」

大企業、中小企業、ベンチャービジネス、外国企業等の企業体を対象に、各社の発行資料を収集し、ケーススタディの手法を用いて研究を行います。決算書による財務分析だけでなく、数値情報によらない非財務分析を重視し、企業を多角的に評価していきます。

1. 昨年度、ゼミで勉強した内容、勉強の仕方

1) 演習Ⅰ（2年後期）

『経営分析』（2年後期）講義の反転授業を中心に、企業研究の基礎知識について2人1組のペア発表形式でゼミ発表を行います。

2) 演習Ⅱ（3年生）

3人1組のチームで一つの業種企業をテーマにして1年間共同で企業研究を行います。有価証券報告書・アニュアルレポート・IRサイト情報などを読み込んでいきます。また、各業界の専門家に「オンラインセミナー」を実施します。他大学とのインターゼミ発表会も開催します。

3) 演習Ⅲ（4年生）

自分の関心のある企業1社（または特定のテーマ・業種）を選んで、企業研究を軸にした卒業論文を完成させます。



(演習Ⅰ、反転授業)



(演習Ⅰ、反転授業)



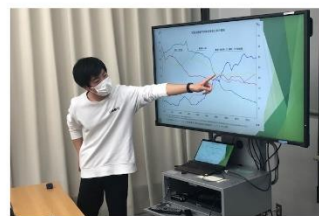
(演習Ⅰ、反転授業)



(演習Ⅱ、研究発表)



(演習Ⅲ、ゼミ論発表)



(演習Ⅲ、ゼミ論発表)

●参考図書、輪読図書の例

・伊藤邦雄「新・企業価値評価」 ・ 大津広一「経営指標大全」、など

2. ゼミにかかる年間予算（合宿費・教科書代など）

合宿等のイベントは、ゼミ生の意向をみながらゼミ生で一から計画を立てる予定です。

それ以外の費用は演習で輪読する参考書程度です。

3. ゼミのアピールポイント（学びを中心に）

発表やプレゼンテーション、グループワークが多いので実務的な能力が身につきます。経済学部の中で最も「実践的なゼミ」だと思います。ゼミ生の就職先はIT系や人材系が多い傾向にありますが多様です。昨年の主な就職先は東京国税局（公務員）、リクルート、エン・ジャパン（人材）、日本銀行、日本マスタートラスト信託銀行、オリエントコーポレーション（金融）、日立ソリューションズ、パーソルプロセス&テクノロジー（IT）、エイチ・アイ・エス（旅行）でしたが、非上場のベンチャー企業に入る人もいますし、休学してベンチャー経営に関わる人もいます。

4. ゼミ生から見た小野先生ってこんな人

性格は穏やかな先生で、見た目は年齢よりかなり若いです。話すのがとても好きで学生に熱心に向き合ってくれます。

高校時代は陸上競技部、大学ではボート部に所属。社会人になってもフルマラソン12回出走、高尾山290回、富士山11回登頂。料理が好きでいろいろな料理が作れる。大学が休みの時は海外にドライブに行きます。

5. 新ゼミ生に期待していること

主体的に質問することや積極的な行動をすること。

企業研究が中心なので、実際の仕事に関心があること/現実を知ろうとする探求心が必須。財務諸表は読めた方が良いです。ゼミ入室について希望する職業や業種は関係ありません。

ベンチャーに関心がある人/就職したい人は強くお勧めします。

（注）小野ゼミの募集は『経営分析』『ベンチャービジネス』の講義を履修できる経営学科3コースの学生が対象で、経済学科は対象外となるので注意してください。



（小野先生、2023年4月、高尾山頂）

櫻井ゼミ

◆研究テーマ：地域問題と地方財政

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・櫻井ゼミは「真面目に楽しく」をモットーに、
グループワーク中心で活動しています (小野先生、2023年4月、高尾山頂)
- ・個性豊かなゼミ生が集まっており、やるべきことと楽しむことにメリハリをつけ、一人一人が主体性を持って行動しています。
- ・櫻井先生はゼミ生に真摯に向き合ってください方です。
ゼミ生が新たな気づきを得られるように様々な視点からご教示いただけます。
また、ユーモラスな面も持ち合わせており、ゼミはいつも明るい雰囲気です。

2. ゼミの志望動機

【将来の展望が決まっていた人】

- ・地方財政について学習したいと考えたから。(地方公務員志望)
- ・学習内容がどのような部署に配属されても役立つと考えたから。(地方公務員志望)
- ・地域問題について研究したいと考えたから。(旅行業界志望)

【そうでない人】

- ・地域問題や地方財政といったテーマに興味を抱いたから。
- ・グループワークを中心とするゼミであるから。
- ・櫻井先生の担当する授業を受講して、先生の人柄に惹かれたから。

3. ゼミに入って感じたこと

【良かった点】

- ・グループワークが多く、ゼミ活動が非常に充実している。
- ・様々な価値観を持ったゼミ生が集まるため、グループワークなどを通じて自身の価値観を広げることができた。
- ・先生とゼミ生の距離が近く、コミュニケーションがとりやすい。

・個人での活動でもゼミ生同士で協力することができるため、やり遂げた時にはみんな達成感を感じることができる。

【成長できた点】

- ・発表準備を通して、端的にまとめる力がついた。
- ・数字やデータを読み取り、事象と紐づけて考える力が付いた。
- ・グループワーク中心であるため、協調性が養われた。

4. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・地域問題と地方財政に関する基礎学習：『里山資本主義』を輪読します。
- ・地方財政分析：自身の興味のある市町村の財政分析をして発表をします。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・グループ論文：学内外のゼミ討論会への準備として、ゼミ生でグループを作り、論文を作成します。
- ・就職活動の準備：グループディスカッションの練習や、エントリーシートの作成、添削などを行います。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆
- ・就職活動に関する情報交換

5. 年間予算

- ・輪読本：1000円以内
- ・合宿費：未定
- ・懇親会費：3000円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・日本におけるスポーツビジネスのあり方
- ・少子高齢化社会における日本の年金制度の持続可能性
- ・高齢者を介護するヤングケアラー問題と当事者のニーズに対応した公的支援のあり方
- ・移住や定住の促進による地方創生
- ・家庭環境や居住地域に左右される小学生の教育格差の是正を目指して など

7. 自由記述

- ・櫻井ゼミは真面目に楽しく学ぶことができるゼミです。

- ・興味を持った方はぜひ 5/8(水)、5/14(火)開催のゼミ個別ブースやオープンゼミに参加してみてください。



ご参加、お待ちしております！

東海林ゼミ

◆研究テーマ：会計の目で企業を見よう【管理会計】

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

意欲的な学生が多く、真面目かつ活発なゼミです。

個人での活動が中心で、チームを組んで発表会に参加するなどといったことはありませんが、サマーセッション・スプリングセッションを開催していることもあり、和気あいあいとしています。



2. ゼミの志望動機

- ・以前履修した「会計入門」「予算管理」などが面白かったから。
- ・東海林先生に基礎演習でお世話になり、信頼できるから。
- ・就職活動に強そうだと感じたから。

3. ゼミに入って感じたこと

ゼミに入る前の印象に反して、東海林先生はとても面倒見の良い熱血漢だった、という意見が多いです。

また、普段の活動は個人で行っていますが、長期休みの期間でのゼミでは同学年や先輩とも協働するため、他のメンバーとの距離も縮まります。

4. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

主に財務会計について学びます。財務会計分野の中から一つ決められたテーマについて各自学習してレジメを作成し、ゼミの時間にて発表します。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

主に管理会計の主要な理論や技法について学びます。2年次と同じく、テーマごとにレジメを作成し、発表します。

また、3年次終了までに日本商工会議所簿記検定2級の合格が必要です。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

企業経営や会計理論・実務に関わるものについて自由に選択し、20,000字以上の卒業論文を作成します。

※長期休みの期間でスプリングセッション・サマーセッションを毎回行い、東海林先生考案のビジネスゲームを行います。様々な企業で採用されている実績のあるゲームで、数人で株式会社を設立し模擬的に商品売買を行うことで、簿記による企業の活動記録がどのように繋がるのか、業績にどのように反映されるのか理解することが目標です。

5. 年間予算

テーマごとの研究が中心なので、教科書はありません。よって「教科書代」は0円です。なお経済学部の学生のため、日本経済新聞（電子版含む）は必読です。コンパが開催できるようになれば、1回4,000円ぐらい必要になります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- 「持続的な企業価値創造に関する統合報告書の役目と課題—中外製薬の事例をもとに—」
- 「フィットネス業界の将来性—高齢化社会での位置づけ—」
- 「PB商品の課題と今後の展開—セブンプレミアムに焦点を当てて—」
- 「コンビニエンスストアの将来像—地方の店舗に学ぶコンビニ人の未来—」
- 「葬儀ビジネスの現状と問題点—葬儀業者と利用する側、双方の視点から—」
- 「内部統制の現状と課題—不祥事事例の分析による報告書の改善提案—」

7. 自由記述

公認会計士や税理士を目指しているゼミ生が多く、適した環境です。もちろん、士業を目指していないゼミ生もいるため、そういった方も熱意があれば大歓迎です。

気になる方は、

【ゼミ個別ブース相談会・公開ゼミ】へ
ぜひお越しください。

お待ちしております！



杉山ゼミ

❖ 研究テーマ：日本経済史・経営史・企業家史

皆さん、「経済史」と聞くと、なんだか現代とは切り離されたかた〜い歴史のイメージがありませんか？

私たちは、明治以降の経済の流れや長年続く大企業の経営が、現在の経済・経営にどのような影響を与えているのか、どんな繋がりがあるのかを研究しています！

❖ 担当の杉山里枝教授



日本経済史ゼミ担当の杉山里枝と申します。

私の専門は経済史・経営史です。経済から経営までオールマイティに、幅広くやっています。

グループワーク中心で人とたくさん話すゼミなので、和やかに楽しく、みんなでゼミを作り上げたいです！

❖ 年間スケジュール

演習Ⅰ：2年後期

教科書を輪読し、日本経済史のアウトラインを一通り学習します。
章ごとのグループ発表、ディスカッションを通じて、内容の理解とプレゼン能力、ディスカッション能力の向上を図ります。

演習Ⅱ：3年

後期のゼミ成果発表会に向け、グループに分かれて研究を始めます。
研究テーマは日本の経済、経営に関することであれば自由！夏休みにはレクや実地研修、11月頃には明治大学・青山学院大学との合同ゼミもあります。

演習Ⅲ：4年

卒業論文の作成や就活対策を行います。

❖ 過去の卒業論文テーマ例

ゼミ専攻に近いテーマ：「日本的経営が役立つ発展途上国を探す」
「日本の経営に必要なリーダーシップ」

比較的自由なテーマ：「将来的な仮想空間の可能性と経済に及ぼす影響について」
「音楽トレンドと経済成長の推移」「日本の観光産業のこれから」
「ファストファッションがもたらした暗い影」

❖ ゼミ生にインタビュー

杉山ゼミの志望理由は？



GPAよりも人柄を優先してもらえる
ゼミだと聞いたので！

先輩方の雰囲気がとてもよく、
グループワークも楽しそうだったから！

杉山ゼミの特徴は？

ゼミ生同士はもちろん、
先生とゼミ生の仲もよくて楽しい！

他大学との合同プレゼンがあるので、
他大学との交流やプレゼンにも強くなれま
す！



杉山ゼミに入って良かったことは？



仲が良いのでグループワークも友達同士で
いろんな議論をする場になっていて楽しい

OBOG や外部講師の方による就活イベントや
他大学との合同ゼミなど、刺激もたくさん！

❖ 最後に

日本経済史ゼミですが、ゆるく自由なテーマで好きなことを研究できます！

また、写真からわかるようにみんな楽しく和気あいあいとしていますが、真面目なところは真面目に！と、メリハリのあるゼミです！

楽しいゼミ生活を送りたい方は杉山ゼミへお越しください！お待ちしております！！

高木ゼミ

◆研究テーマ：日米マクロ経済データ比較

アメリカのデータを使用しているマクロ経済学理論のテキストに沿って、グラフのデータを最新のものに更新し、日本の対応するデータを同様にグラフ化しテキストの記述に基づく分析を適用し、どこまで実際の状況を説明できるか確認する。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・基礎からデータなどの専門的な分野まで幅広く学習するゼミ。
- ・課題を通してゼミ生同士で協力する場面が多々あるので、ゼミ生の仲が良い。
- ・先生に質問をしたときに、答えを直接教えるのではなく、理解する上でのヒントをもらうことができるため、自分自身で考える力が身につき、成長につながる。

2. ゼミの志望動機

- ・数学的な分析が好きで、自分でやってみたいと思ったから。
- ・将来について考えたときに、データや Excel の扱いに長けた人材になりたいと思ったから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・zoom で画面を共有しながら授業を進めるため、授業内容がわかりやすく理解が深めやすい
- ・Excel の操作をする機会が多いため、Excel が得意な人、Excel の使い方により詳しくなりたいという人におすすめ。
- ・自分での学習がとても重要になってくるが、先生が親切で、LINE などいつでも質問を受け入れてくれるため、自分での学習を円滑に進めることができる。

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・テキストの内容を報告
- ・テキスト内の図表を理論的な説明に沿って数式化し、Excel を用いたグラフや表で再現する
- ・テキストで学んだ経済理論を実際に使い、章末問題を解く。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・各種データの入手方法を利用方法の確認
- ・マクロ経済学の教科書の内容を最新の日米データを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論がどこまで当てはまるか確認する。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・各自3年次に行ったグラフ分析を元に、卒論の対象とする分野を絞り込む。
- ・対象分野のグラフ分析からモデル分析や分析範囲を拡大して3年次の分析の深化、拡大を図る。
- ・卒業論文の作成

5. 年間予算

- ・教科書代
2年次約3000円、3年次約6000円（3000円×2）
- ・合宿他行事（各学年で希望に基づいて実施）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・『消費関数理論の検証-現代経済に対する基礎的理論の通用可否』など、教科書のトピックを掘り下げるものが多い。

7. 自由記述

- ・高木ゼミで出される課題は難しいものもありますが、ゼミ生と協力し、先生の助けを受けたりしながらやり遂げることで自分自身の成長につながります。また、課題をこなすにつれて本題となるデータ分析だけでなく、Excelの知識についても詳しくなるため、将来腐らない知識を確実に身につけることができます。そのため、将来何がしたいのか決まってない人は自分の力となるデータ分析・Excelへの先行投資として、このゼミへの参加することをおすすめしたいと思います。

高橋ゼミ

◆研究テーマ：経済・社会・スポーツのデータ分析

統計学を利用して、経済問題だけでなく、社会問題やスポーツについて幅広く分析する。

ビッグデータ時代に対応する力を身につける。初学者にも十分配慮した演習を行う。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

20人弱という少人数で主に AMC4階の C5教室で活動しており、落ち着いた雰囲気です。研究テーマにも記載したように取り扱う内容は経済問題にとどまらず、実際に現3年生は日本の人口問題について、教科書を用いながら学習を進めています。プレゼンをする機会も多く、PowerPointなどの資料の作成やプレゼンテーションに関するスキルを実践しながら高めることができます。また、Excelをはじめとした様々なソフトを使用して、統計分析の知識・スキルを学ぶことができます。3年次の夏までには統計検定3級の合格も目指します。多くの学生がデータ分析に関して統計入門を履修した程度の知識・スキルからゼミに入り、親身になってくれる先生と一緒に頑張っています。

2. ゼミの志望動機

- 統計ソフトウェアを使って、自分が興味のある分野のデータ分析をしたいと思ったから。
- 統計やデータ分析に関する資格を取りたいから。
- 経済やスポーツをデータの観点から分析してみたいと思ったから。
- 統計入門を履修して、統計学に興味を持ったから。

3. ゼミに入って感じたこと

<このゼミに入って良かったこと>

- 統計学の勉強ができる。
- 統計検定などの資格を取得して、それを就活や就職後に活かせる。
- 実際の経済・社会問題を統計の観点から分析できる。
- プレゼンをする場が多く、スキルを高められる。

<こんな人がこのゼミに向いている>

- 統計やデータに興味・関心がある人
- 経済や社会の問題に対して、疑問を持ったり統計的側面から原因を考えたりできる/したい人
- 資格を取りたい人
- 数学が好きな人

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- 教科書の輪読

グループごとに教科書の内容をプレゼンし理解を深める。現 3 年生は日本の人口問題についての書籍を取り扱った。

- 期末レポート作成

輪読で扱った教科書について個人でレポートを作成。

2. 演習 II A・B (3年生)

- 教科書の輪読

グループごとに教科書の内容をプレゼンし理科を深める。2 年後期に扱った問題について、別の視点から書かれている書籍を用いて学習する。

- 統計学の基礎的な学習

テキストを用いて学習する。

- 統計検定の受験

3 年次の夏までに 3 級の合格を目指す。より高いレベルを目指す人は、卒業までに 2 級合格に向けて勉強する。

- 「のびのび経済」の論文執筆

3~4 人のグループに分かれて執筆する。

3. 演習 III A・B (4年生)

- 卒業論文執筆

- 授業は、教科書の輪読の場合、グループごとに担当箇所のプレゼンとそれに対するコメントや質問による内容理解が中心です。統計学の学習の場合は Zoom によるオンライン授業を設定することもあります。

- あくまでもこれは予定であり、ゼミ生の人数などによってはスケジュールや取り扱う教材が変わることもあります。

- 担当教員の専門分野：データ分析、国際経済学（海外経験も豊富）

5. 年間予算

- 教科書代 6000 円程度（取り扱う教材によって前後あり）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- 東横線沿線の中古マンション価格の決定要因
- サッカーのデータ分析
- 番狂わせ（ジャイアントキリング）の確率的研究
- 中小企業の倒産要因の統計的分析
- コンパクトシティ化は二酸化炭素排出量削減に寄与するか
- 箱根駅伝、勝者の戦略分析

田原ゼミ

◆研究テーマ：人口減少社会におけるまちづくり

日本の人口変動とその地域性、また地域経済に関する研究調査を行う。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・3学年合同でゼミを行うため、学年ごとの距離感が近いです。
- ・ゼミ生は真面目な人が多いですが、飲み会などのゼミ外での交流も盛んです。
- ・OB・OG会などの交流もあり、実際に社会で働いている先輩方からの貴重なお話を聞くことができます。
- ・ブラザー・シスター制度、スーパーバイザー制度が導入されており、先輩が後輩のフォローをします。そのため分からないことがあればすぐに聞くことができ、アドバイスを受けることができます。
- ・プレゼンや発表をした際は必ず田原先生からフィードバックを頂きます。どのアドバイスや指摘も的確であり学生の成長を促してくださる素晴らしい先生です。
- ・地域連携活動に力を入れており、毎年地域の住民の方や事業者・行政と連携して渋三さくら祭を運営し、地域活性化に貢献しました。

2. ゼミの志望動機

- ・渋谷の街がどのような街か深く知ることができると思ったから。
- ・発言力、プレゼン力、レジュメ作りの力を身に着けることができるから。
- ・OB・OGの方々と繋がりができ就活で優位になると感じたから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・先輩がとにかく丁寧にサポートしてくださるので、不安が少ないです。
- ・発表が苦手な人はその苦手克服ができ、得意な人はさらに伸ばすことができるため発表の得意不得意に関係なく、向上心がある方は大きく成長することができます。
- ・レジュメを作成する機会が多いため、資料作りにおける内容の取捨選択能力や表現力を伸ばしたい人などにもおすすめです。

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・「教科書報告」

「東大塾 これからの日本の人口社会」を用いて、東京一極集中や高齢化、人口減少などのいま日本が直面している課題を多角的な視点から学び「人口減少社会」「人口移動」「地方創生」「希望学」を各々の言葉でまとめ、今後の日本社会に対する理解を深めました。

使用した教科書：白波瀬佐和子編（2019）『東大塾 これからの日本の人口と社会』東京大学出版会

・「新聞記事報告」

各々がゼミのテーマ（地域経済あるいは社会保障）に関連した新聞記事を読み込み、レジュメにまとめ発表することで、そのテーマに関する見識を深めました。

・「ゼミ成果発表会」

『住宅確保用配慮者に対する支援の現状と課題点』と『渋谷三丁目のまちづくりに関する調査』の二つのテーマをもとにそれぞれグループを分けてプレゼンを行いました。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

・3年生は2年生に対し、フィールドワークを用いて大手町・丸の内・有楽町の現在と過去の移り変わりやまちづくりの様子を紹介しました。また、卒論に向けて3年生それぞれが研究するテーマの選定を行いました。その後は、選定したテーマに関連する論文や新聞記事や学術論文を用いて理解を深めています。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

4年次は卒論の執筆を最終的な目標として各自で調査計画を策定し、現地調査を実施します。完成後 OBOG の方々の前でプレゼンを行う「卒業論文発表会」を実施します。

5. 年間予算

教科書代 3000円 飲み会 9000円(3回程度)

合宿 28,000(夏合宿) OB・OG会 4000円

合計 45,000円 ※目安

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・「都心再開発と居場所がなくなるホームレス～渋谷区を事例に～」
- ・「自動運転バスの社会実装に伴う地域住民も反応について－茨城県境町の事例－」
- ・「Jリーグを維持させるためのホームタウン活動の周知」

7. 自由記述

・勉強するときはしっかり勉強し、楽しむときは楽しむ。そんなメリハリのあるゼミです。



(大・丸・有巡検)



(浜三さくら祭)



(卒業論文発表会)

中馬ゼミ

◆研究テーマ：『グローバル経済の中で深刻化する経済・社会格差問題』

グローバル経済の展開と密接に関わりつつ深刻化する経済格差や社会的差別の要因・現状分析、ならびにそれらを踏まえた「オルタナティブな経済を模索する動き」の研究を主題とします。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

-
- ・中馬ゼミはグループワークが多く、和やかな雰囲気です。中馬先生はグループ発表やレポートを書く際に、分からない所や間違っている点を分かりやすく、親身になって教えてくれるので、苦手な方でも真剣に取り組むことができます。
 - ・グループワークなどではみんなが発言しやすい雰囲気があります。
 - ・ほのぼのとした空気の中、一つの文献を用いて読み解いていきます。

2. ゼミの志望動機

-
- ・途上国の経済である開発経済学に興味があり、研究分野が開発経済の中馬先生のゼミに入りたく志望しました。
 - ・友達のゼミ見学についていたら、ゼミの雰囲気がよく先生もとても親切だったので志望しました。

3. ゼミに入って感じたこと

-
- ・一つの購読文献をゼミ生全員で深掘りしていくため分析力が身につく。
 - ・発表の機会が多いためプレゼンテーションに慣れることができる。
 - ・参考文献の書き方、論文の書き方など丁寧に教えてもらえる。
 - ・先生が一人一人にアドバイスをくれる。
 - ・苦手な文献発表などもグループでやるために、やりやすい。

4. こんな人におすすめ！

- ・ 開発経済や途上国に興味がある人
- ・ グループワークをしたい人
- ・ コミュニケーション能力を鍛えたい人

5. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・ 1年次の基礎演習で行ったアカデミックスキルのおさらいをし、一つの文献を購読します。レポートの書き方を学び、書評レポートを作成します。
- ・ グループで文献報告を発表し、振り返りなどをします。

2. 演習 II A・B (3年生)

- ・ 卒業論文のテーマである「個人テーマ」の決定に向けて、似た関心のある履修生たちでグループを作り、文献報告をします。
- ・ 文献報告を2回行い、学期末に書評レポートを行います。

3. 演習 III A・B (4年生)

- ・ 卒業論文の作成

6. 年間予算

- ・ 特定の教科書の購入はなく、合宿もないため費用は特になしです。

7. 自由記述

中馬ゼミは開発経済だけでなく、女性労働論やジェンダーに関する学問など様々な問題に対して触れていくゼミです。3年次からのコース選択も自由なので、他の授業も取りやすい自由度の高いゼミです。

卒業論文のテーマもある程度自由なので、自分の興味のある分野を研究することができます。

合宿も飲み会などもないため、大人数の場が苦手な人などにお勧めです。

辻ゼミ

◆研究テーマ：企業における人の成長とチームの成果を「科学」する

職場で成果を発揮するためには、人はどのように成長するのか、チームメンバーはどのように影響を

及ぼし合うのかを科学的に検証することが重要です。そのための基礎知識と方法を学びます。

キーワード：#人材開発 #組織開発 #組織行動 #メディア #ワークショップデザイン

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

ひと言でいうと

ハードファン！

ゼミ生について思うこと

主体性の塊！個性豊か！

先生について思うこと

ゼミ生の成長を考えて「一人の大人として」接してくれます！

普段の活動風景





2. ゼミの志望動機

・Tさんの志望動機

私はゼミのテーマ（人材開発）に興味があったのではなく、辻先生のもとで学びたいという気持ちで入りました。ゼミに入るからにはほとんど学んでたくさんの方に挑戦したい、大学生の集大成である卒論を納得いくまで作り上げたい、そんな思いがありました。辻先生はそういった生徒の背中を全力で押してくれる先生です。だから選びました。

・Hさんの志望動機

私は以前から辻先生が研究されている人材開発・組織開発に興味があり、ゼミに応募しました。辻先生のゼミで人間、組織とは何か、人が人へ、組織へ与える影響はどんなもので結果はどうなるのかを辻先生から学びたくて志望しました。

3. ゼミに入って感じたこと

このゼミに入って良かったこと

- ・仲が良い！
- ・ゼミ生がみんな積極的で、雰囲気が良い
- ・自分のやりたいことにチャレンジができ先生も本気で向き合ってくれる

オススメポイント

- ・ゼミ活動を頑張りたい人！
- ・本気で楽しく学びたい人！
- ・辻先生の人生論を聞きたい人！

4. 年間スケジュール

1) 演習 I（2年後期）

- ・課題図書発表

個人が指定された書籍（小塩, 2021『非認知能力』（中村ら, 2023『いちばんやさしい「組織開発」の始め方』）をまとめて発表。発表の際にグループワークを1つ企画。発表15-20分+企画したグループワーク15分。パワポで発表。

・個人研究発表

卒業論文作成の最初の段階として関心のあることをまとめて発表する。

発表形態はポスター、パワポ、資料など。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

・課題図書発表

課題図書“Foundations of Human Resource(Swanson,2008)の Chapter3“History of Human Resource Development”

を和訳して発表。英語で知識を得ることを体感してもらう。

・研究方法論学習

実証研究をするなら定量も定性も方法論を知る。

・個人研究発表

夏休みまでに研究計画が完成することが目標。

・ミニ論文

卒業論文につながるミニ論文（5000字程度）の執筆に挑戦。

3) 演習ⅢA・B（4年生）

前期：研究計画を立て、卒業論文とメディア（映像、絵本、ワークショップ等）作成開始。

後期：卒業論文とメディア完成。

5. 年間予算

・教材費：3000円程度

・合宿費（2024年春は、神奈川県三浦海岸で1泊2日で開催。論文の書き方のワークショップやゼミの親睦を深めました。）：20000円程度

その他、合同イベント、個人の研究などでお金がかかる場合もあります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

・「企業の働きがいを生む要素に対する社員の関与に関する研究」

・「企業で起こるモチベーション理論比較検討」

7. 自由記述

学びたいことが決まっている人はもちろん、まだ学びたいこと研究したいことが決まっていない人も大歓迎です！！一緒に楽しく本気で学びましょう！

手塚ゼミ

◆研究テーマ：成長戦略研究

グループ討議を通して、経営戦略の理論を用いて企業を分析し、その企業の課題を明らかにしたうえで、企業がさらに成長するためにはどのような戦略やビジネスモデルが立案できるかを考えていきます。先生の実務経験も踏まえた、実社会に出ても役立つ戦略分析力も養っていきます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

▼ひと言でいうと

落ち着いていて、穏やかな雰囲気 of ゼミ

真面目な雰囲気、学びの環境が整っている

▼ゼミ生について思うこと

静かで真面目な人が多い

議論はきちんと行うが、雰囲気が柔らかくメリハリがついている人が多い

▼先生について思うこと

寛容的で優しく穏やかな先生

解説が分かりやすく、学生の理解度に合わせて柔軟に対応してくれる先生

▼活動風景



輪読・プレゼン

グループ討議

先生解説

2. ゼミの志望動機

《展望が決まっていた人》

「ビジネスモデルに興味があったから」

「経済学科だけど、経営に近い内容も学びたいと思ったから」

「経営戦略に興味があり、実務経験のある先生に教わりたかったから」

「先生のご職業であるコンサルタントという職業に興味を持ったから」

《展望が決まっていなかった人》

「落ち着いた雰囲気に着かされたから」

「"事業承継"の講義を担当している手塚先生に教わりたかったから」

「実践的・主体的に経営戦略について学ぶことができると感じたから」

3. ゼミに入って感じたこと

▼このゼミに入って良かったこと

「経営戦略について半期をかけて、しっかり学ぶことができたこと」

「経営についての知識はゼロだったが、着実に学び進められていること」

「プレゼン力が身についたこと」

▼オススメポイント

「企業分析において自分が学んだことを活かすことができる」

「経済学科の人でも経営について1から学べる」

「雰囲気良し、大変すぎず、適度にしっかりやるゼミ」

▼こんな人がこのゼミに向いている

「みんな真面目で、ゼミの雰囲気も穏やか！ 落ち着いて勉強したい方におすすめ！」

「真面目にゼミ活動がしたい人や、物事をじっくり考えたい人」

「みんなで真面目にコツコツと学びたい人」

4. 年間スケジュール

●演習Ⅰ（2年生後期）

輪読（ほぼ毎回）とミニ演習（3回程度）を通して経営戦略の基礎スキルを養成

輪読：学年全体で同じ入門書を読み、発表・討議するプロセスを通して知識を習得する。

ミニ演習：チームで企業を分析し発表するプロセスを通して、習得した知識を活用する。

※2023年度課題図書：綱倉・新宅(2011)『経営戦略入門』日本経済新聞出版社。

●演習ⅡA・B（3年生）

グループでの企業分析を通して企業の課題を明らかにし、ビジネスプランを作成

前期：フレームワークを用いて実企業の内部環境・外部環境を分析・発表し、企業課題を明らかにする。その後、企業の新たな方向性を検討して新規事業を考える。

後期：これまで習得した経営戦略スキルを用いてグループでビジネスプランを作成・発表し、全員で討議する。最終的にはビジネスプランコンテストへの提出を目指す。

●演習ⅢA・B（4年生）

3年次までに培った経営戦略スキルを踏まえた卒業論文の作成

前期：個人でテーマを設定し、特定の企業や業界を分析する。

後期：前期の分析に基づき、企業や業界の課題や方向性を卒論論文としてまとめる。

5. 年間予算

- ・教科書代：3500 円程度（演習Ⅰで使用する輪読本の金額）
- ・懇親会代：3000 円程度/回（実施については各学年の学生の自由）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

「後発企業の成功要因についての考察」

「トヨタの電気自動車における経営戦略」

「ビジネスホテル業界のコロナ禍における影響 ～5ホテルの主な取り組み～」

「戸建分譲業界におけるオープンハウスグループの成長戦略の提案 ～チャレンジャー企業の成長事例から見る～」

「D2C スタートアップの成長におけるブランド・コミュニティの発展 ～BASE FOOD 株式会社の事例～」

中田ゼミ

◆研究テーマ：企業分析・財務会計・国際会計

中田ゼミでは、有価証券報告書を用いた企業分析・ビジネスコンテストの参加に向けた取り組みなどを行なっています！

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・みんな仲が良く、とても賑やかです！ですが、やるときはやる！といったメリハリのあ
るゼミです！！
- ・中田先生自身がメリハリのある人なので、授業中は真面目ですが休憩時間などは気軽に
話してくれます！また面倒見も良く、授業や就活に関することなど、いろいろな相談に
乗ってもらえます！

2. ゼミの志望動機

《展望が決まっていた人》

- ・国際会計と財務会計が両方学べるゼミに入りたかったから。
- ・K-PLAS で簿記やっていて会計をやりたかった。
- ・個人活動よりグループワークだったから
- ・金融業に就職したいため、会計系を勉強したいから。

《展望が決まっていない人》 ・サークルと勉強が両立できそうだから。 ・特にやりたい
ことはなかったが、企業分析の仕方を就活に役立てられそうだったから。 ・ゼミ生同
士の雰囲気良かったから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・このゼミに入って良かったことは、ゼミ生同士での仲がよく、グループワークもみんな
が進んで協力してくれるため、居心地が良いことです。また、このゼミでは個性豊かな
ゼミ生が多く、グループ単位で活動を進めていくので、さまざまな人との協働の仕方
についても学べるのだと思います。

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・企業分析 (昨年度は、金子ゼミと合同で発表会)

- ・ビジネスコンテスト参加（昨年度は、根岸ゼミ・宮下ゼミと合同で発表会）
- ・経営戦略と会計の教科書の発表

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・経営分析（企業価値評価）
- ・産学チャレンジプログラムへの参加
- ・他大学との合同ゼミ
- ・学部のゼミ発表会への参加

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文

5. 年間予算

- ・教科書代：3冊で6000円程度
- ・合宿：1回3万円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・わが国の確定決算主義のゆくえ～IFRS導入を巡る議論を中心に～
- ・総合商社を取り巻く事業リスクと商機—業界大手3社の企業価値評価を通じて—
- ・富士ゼロックスの不正会計～会計上の問題点とコーポレートガバナンスの問題点の分析～
- ・企業の物流戦略と物流不動産
- ・日本における退職給付会計のゆくえ—過去の改正によるIFRSとのコンバージェンスと現行基準の相違による財務諸表への影響—
- ・サウスウエスト航空の競争優位性と米LCC業界での今後の展開分析

7. 自由記述

2年生は金曜5,6限で活動しています。学年合同で活動しており、先輩方からアドバイスをもらいながら学習できるので、縦のつながりを持つこともできます！ スプセとサマセでは合宿に行くため、ゼミ生や先生と仲良くなれ、楽しく学ぶことができます！ 会計だけでなく、企業分析についての知識も得ることができるので、少しでも興味がある方大歓迎です！ ご応募お待ちしております！



根岸ゼミ

◆研究テーマ：財政と現代の経済社会の問題

根岸ゼミでは、「財政と現代の経済社会の問題」について学びます。

根岸先生の専門である財政学は、政府の活動や政策・制度と現代における経済問題との関係を研究する学問です。

つまり、今起こっている経済問題の全てが根岸ゼミでの勉強の対象であり、政府や社会全体がなぜそのような動きをするのかを深く研究します。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

同級生だけでなく先輩と後輩の繋がりを重要視していて、授業外でもコミュニケーションをとる機会が多いです。

様々なビジネスコンテストや論文コンテストに出場するので、経済社会の問題だけでなく、チームワークの大切さや主体性を学ぶことができます。

根岸先生は、学生に親身であり、積極的に関わってくれる先生です。

2. ゼミの志望動機

- ・グループワークを通じてコミュニケーション能力を磨きたかったため。
- ・コンテストに出場して将来につながる経験を積みたかったため。
- ・主体性を身に付けたかったため。
- ・様々な視点から経済社会の問題を解決する取り組みに魅力を感じたため。
- ・授業外でもゼミ生との関わりを持てるため。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・授業外でミーティングやコンテストに向けて話し合いを行うので、強いやりがいを感じることができます。
- ・上級生と交流する機会が多いので、様々な相談(就活やゼミ活動など)をすることができます。非常にアットホームな雰囲気です。
- ・コミュニケーション能力を鍛えたい人、経済問題を広く学ぶ上で主体性を身に付けた人におすすめです！

4. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・ チームビルディング
- ・ 輪読
- ・ 外部コンテストに参加（マイナビ）

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・ 2つの外部コンテストに参加
- ・ 卒論テーマ決め
- ・ 卒論第一章の完成

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・ 卒論の完成
- ・ ゼミ生同士での卒論の読み合わせ

5. 年間予算

- ・ 本代(2年生)3000円程度、合宿費 25000円程度、その他がかかります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・ 今後の日本でより長く健康で豊かに過ごすには
- ・ 持続可能な地方中核都市の形成を目指して
- ・ 日本における同調現象の理解「空気を読む日本人」は集団主義か
- ・ Maasは日本の公共交通機関が抱える問題を解決できるのか
- ・ 農業協同組合の役割の変化と今後の可能性 農作物の流通を軸にして

7. 自由記述

根岸ゼミの良さは、ゼミでの学びを通して、社会に出ても活用できるコミュニケーション能力や主体性を身に付けることができる点です。楽をして単位を取得することが目的の人には向いていないと思います。ゼミ活動を充実したものにしたい、コンテストに出て経験を積みたい人におススメです！

興味が少しでも湧いたらぜひ個別ブース相談会やゼミ見学会に足を運んでみてください！

根岸ゼミ一同 皆様をお待ちしています！



芳賀ゼミ

◆研究テーマ：消費者視点で学ぶマーケティング問題

芳賀ゼミでは、「消費者視点」でのマーケティング問題について学んでいきます。どのような顧客をターゲットとして製品を開発していくかなどを与えられた課題やテーマに沿って取り組んでいきます。3年前から始まった比較的新しいゼミになっています！

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・現在は4年生が20人、3年生が19人の計39人で活動しています！
- ・グループワークを積極的に行うので生徒同士が非常に仲の良いゼミです！
- ・先生は真面目で優しく、連絡事項や授業の指導を手厚く行ってくださいます！



2. ゼミの志望動機

<将来の展望が決まっていた人>

- ・将来マーケティング職に就きたいまたは興味があるため。
- ・グループワークを通しての社会人基礎力を身につけ将来に自分の能力を活かすため。

<そうでない人>

- ・消費者視点という点で心理学の要素が含まれているため。
- ・グループワークが活発的でタテとヨコのつながりを大切にしているため。
- ・企業とコラボした産学連携による研究が行えるため。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・課題への提案や卒論のテーマなどを自由に決めることができるので積極的に活動できる！
 - ・優しい先輩や先生が沢山いるので、困ったときに気軽に相談しやすいので安心感がある！
 - ・グループワークやイベントが豊富なのでゼミ生全員と繋がりをもてる部分がオススメ！
- ⇒マーケティングやグループワークが好きな人、ゼミ生との関わりを大切にする人向けです！

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

多変量解析(分散分析、回帰分析、因子分析、クラスター分析)実習を行います。

→グループ毎に好きなテーマを決め、調査・分析をした上でプレゼンテーションをします。

2. 演習 II A・B (3年生)

消費者の視点からマーケティング問題の発展についてグループ研究を通して考えます。

→前期では各班ごとにテーマを定めた研究を行います。調査・分析をした上でプレゼンテーションをします。

→後期では産学連携(企業とのコラボ)による商品開発や共同研究にも取り組みます。

3. 演習 III A・B (4年生)

・マーケティングのうち消費者行動領域において自らの興味・関心のあるテーマのもと、マーケティングリサーチに基づく卒業論文の執筆に取り組みます。

※この他に 1day のグループワークイベントなども長期休暇に行われることがあります。

5. 年間予算

- ・合宿&ゼミ旅行：場所や内容によって変動(昨年度は1万6000円程度。)
- ・懇親会など…1回あたり3,000円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

芳賀ゼミはマーケティング(特に、消費者行動)に即した内容であれば自由にテーマを決めることができます。ここでは代表的なキーワードをご紹介します。

<代表的なキーワード>

AI(AI音声、バーチャルインフルエンサーなど)、推し活/ファン心理(国内の女性アイドル、韓国のガールズグループなど)、エシカル消費/倫理的消費、課金行動、紙媒体 vs. 電子媒体、カラーマーケティング:色彩心理、感覚マーケティング;五感に関するマーケティング、観光マーケティング;ファンツーリズムを含む、ギフト消費、キャッシュレス決済:デジタル地域通貨、キャラクターマーケティング、苦情行動/カスタマーハラスメント、クチコミ/e-クチコミ、限定商品、サービスマーケティング、消費行動における自己とアイデンティティ、衝動購買、スポーツマーケティング/eスポーツマーケティング、パッケージデザイン、ファッション/化粧行動、ブランドコミュニティ:あるブランドを好む消費者によって構成される集団のこと、プレイスブランディング:場所のブランド/地域ブランド、プロダクトプレイスメント:映画やドラマなどに実際に存在する製品・サービスを登場させる広告の手法のこと、リキッド消費、持たざる消費、心理的所有感;サブスクをはじめとした所有しない消費のこと、レトロ消費 etc…

7. 最後に

マーケティングに興味がある子や何事にも意欲的に取り組める子**大歓迎**です！



藤山ゼミ

◆研究テーマ：経営学

広義の「経営学」は4つの分野に分類されます。会計、金融、マーケティング、そして経営戦略論や経営組織論等を含む狭義の「経営学」です。藤山ゼミでは、狭義の「経営学」について、研究や輪読を通して学ぶことができます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ひと言でいうと
根暗陰キャ救済ゼミ
- ・ゼミ生について思うこと
真面目なゼミ生が多く、グループワークに意欲的に取り組んでいます。
- ・先生について思うこと
分からないことをそのままにせず、納得できるまで説明してくれる、面倒見の良い先生です。

2. ゼミの志望動機

- ・経営戦略論について学びたい
- ・経営組織論について学びたい
- ・企業研究を就活に役立てたい

3. ゼミに入って感じたこと

- ・忙しい分やりがいを感じる
- ・経営学の専門的な知識が身についた

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・個人ワーク：輪読（要約・レポート作成）
- ・グループワーク：事例分析

2. 演習 II A・B (3年生)

- ・個人ワーク：輪読（要約・レポート作成）
- ・グループワーク：ゼミ成果発表会

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・前期：輪読、卒論
- ・後期：卒論

藤山ゼミでは金曜の5限6限を使って演習を行います。

5 限の活動（輪読）

- ・経営学は社会学、経済学、心理学を元に生まれた学問であることから、社会学、経済学、心理学のいずれかの分野の本を読みます。
- ・授業日までに、個人ワークとして、要約を行って疑問に思ったことを洗い出しておくことと、本の内容から考察できることを書きだしておきます。
- ・授業では、疑問点を先生に解説してもらうことと、考察についての意見交換を行います。

6 限の活動（事例分析、ゼミ成果発表会）

- ・授業日までに研究をグループで進めておきます。
- ・授業では、研究発表を行い、ゼミ生や先生から意見をもらって次週までに何をすべきか明確にします。

サマーセッション（ゼミ合宿）

- ・2年生と3年生の夏休みにあります。
- ・ディプロマシーというゲームを行います。

スプリングセッション（事例分析の続き）

- ・2年生の春休みにあります。
- ・グループワークの事例分析を進めます。
- ・私の時は、各週3つのグループのうち2グループずつが集まって活動しました。春休みが6週間あったので、計4回ありました。

5. 年間予算

- ・輪読で使用する本（半期 約 5000 円）
- ・夏のゼミ合宿（約 30000 円）
- ・懇親会（1回約 3000 円）※実施できた場合
- ・その他各自の研究で別途資料代がかかります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・夏フェス市場の成長要因
- ・Panasonic が半導体事業を売却した理由
- ・投資銀行業務の国内市場分析及び日系投資銀行

- ・イノベーションのジレンマから見る SHEIN
- ・ライフネット生命のビジネスモデル
- ・ゆるキャラ広告の達成困難性

7. 自由記述

ゼミを選ぶ上で自分の興味分野に合致したゼミに入るのが望ましいですが、実際は先生との相性がゼミとの相性を大きく左右しているように私は思います。

そこで、藤山先生のビッグファイブを無断で勝手に私が公開しようと思います笑。ビッグファイブとは、早い話、学術的に正しいとされている性格診断です。狭義の経営学の一分野である、経営組織の授業のパーソナリティの回で学びます。外向性、神経症傾向、協調性、勤勉性、好奇心の5項目で評価します。藤山先生は外向性と協調性が皆無で、神経症傾向、勤勉性、好奇心がMAXです。藤山先生としては、勤勉性と好奇心がある人が欲しいようで、外向性と協調性はあった方が良いが、なくても良いそうです。

星野ゼミ

◆研究テーマ：経営戦略や事業創造を中心とした経営学

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ゼミ中の雰囲気は堅苦しくなく、メリハリがあって居心地が良い。
- ・グループワークを毎週行うので考えの共有、グレードアップができる。
- ・経営学を全般的に学べる。 など

2. ゼミの志望動機

- ・将来的にどのような職に就きたいか、明確に決まっていなかったので経営学について幅広く学べる星野ゼミを選んだ。
- ・人気ゼミに入って同じ志を持った生徒たちと学習したいと考えたから。 など

3. ゼミに入って感じたこと

- ・イベントを通じて多くの経験ができると同時に、プレゼン力やリサーチ力などを身に付けることができた。
- ・部活動との両立ができる。
- ・他の授業で習った知識と結びつけて学べる。また逆に、ゼミで習ったことが他の授業の内容を理解する上でのヒントになることもある。 など

4. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・輪読「小倉昌男 経営学」

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・輪読「ケースに学ぶ経営学」
- ・産学チャレンジプログラム in 神奈川
- ・ゼミ成果発表会

4月～7月 輪読・グループワーク

8月～11月 学外ビジネスコンペ

12月 ゼミ成果発表会

1月～3月 就活・卒論について

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・ 卒論作成・発表

5. 年間予算

- ・ 教材費：@3,000/年
- ・ 懇親会費：@3,000/回（年間3回程度開催）
- ・ 計：12,000～15,000/年 程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・ アパレル業界におけるSDGsの取り組みに関する一考察
- ・ エシカル消費が購買意欲に与える影響に関する一考察
- ・ QRコードの汎用性に関する一考察－FeliCaとの比較を通じて－
- ・ シェアド・リーダーシップの有効性と課題に関する一考察
- ・ 企業による交通事故低減に向けた取り組みの有効性と課題に関する一考察

7. 自由記述



細井ゼミ

◆研究テーマ：国際経済・国際経営

細井ゼミでは国際経済・国際マーケティングについて詳しく学びます。具体的には国際的な商取引、グローバル経済内の多国籍企業(TNC)・国家の動向などを学びますが、これらのことについて知識や考えを深めると何気ない海外のニュースも鮮明に理解することができ、大変ながらも面白い分野です。IKEA や無印良品など馴染みのある企業をテーマにすることも多いため興味を持って取り組むことができます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

・ひと言でいうと

先生を含め仲が良く、アットホームな雰囲気です。

・ゼミ生について思うこと

3年生 4人(男子 2人・女子 2人)、4年生(男子 1人・女子 2人)の 7人で活動をしています。

ゼミ外では他愛もない雑談をしてわいわいしていますが、ゼミ内の活動は誠実に取り組みます。

・先生について思うこと

細井先生といえば「厳しい」「怖い」というイメージがあるかもしれませんが、ゼミ生からは真逆のイメージです。先生は確かにストイックな面があり、ゼミの活動には真面目に取り組む必要がありますが、質問には親身に答えてフォローしてくれたり、雑談にも楽しく付き合ってくれたりする優しい先生です！

2. ゼミの志望動機

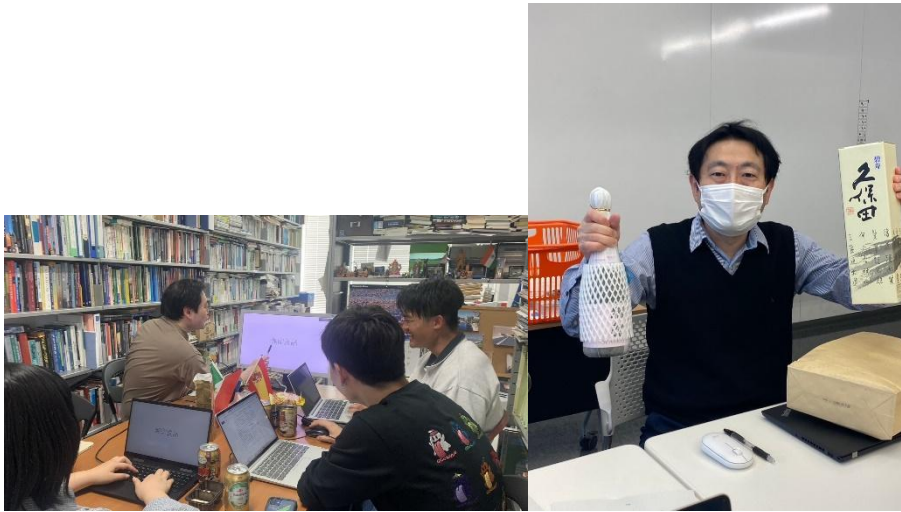
- ・国際経済、国際経営に興味がある
- ・海外が好き、海外に行きたい
- ・先生やゼミ生と仲良くなりたい

3. ゼミに入って感じたこと

- ・少人数ゼミのため、先生が一人ひとりに目をかけてくれます。
- ・OB、OG 含め縦のつながりが強いため、先輩に色々と相談することができます。

・ゼミ後の飲み会や合宿など交流の機会が多いため、ゼミで仲良くしたい人に向けています。

・飲み会は国際系のゼミというだけあって、ベトナム、タイ、イタリア、スペイン、アフリカなど様々な国際料理のお店に行けるのが楽しいです。



4. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

英語の教科書を使い、国際経済や国際経営についての基礎知識を身に着けます。週の担当者が日本経済新聞から気になる記事をピックアップしてゼミ内でそれを紹介します。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

それぞれ興味のあるテーマを設定して、それについてより深く学んでいきます。現在の3年生のテーマとしては「インドの経済」「国際農業」「異文化マネジメント」「国際人的資源管理」があります。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

各自の研究テーマに沿った卒業論文を完成させます。

・毎年、春には国内で交流合宿、3年と4年は海外で夏合宿を行います。夏合宿では企業に訪問して工場など現地の活動を見学させて頂きます。2023年はベトナムに行きました。2024年はインドネシアに行く予定です。

・OBOG会を毎年開催し、就職や今後役に立つ貴重なお話を伺うことができます。

5. 年間予算

実費はテキスト代、月数回の飲み会、春と夏の合宿代ですが、年度によってばらつきがあります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・新興ドナーの政府開発援助
- ・デジタル覇権をめぐる米中対立
- ・移民問題

7. 自由記述

- ・「少人数で集中して楽しくゼミをしたい！」という人にかなりお薦めできます。私もそのような思いで志望しましたが十二分に満足しています。
- ・選考方法につきましては、募集要項を確認してください。細井ゼミは入ったら絶対楽しいし、充実感があると思います。
- ・気になる方は是非ゼミ見学や個別相談ブースに遊びに来てください！お待ちしております！



細谷ゼミ

研究テーマ：マクロ経済と日本経済の理論・実証研究

マクロ経済学を中心に経済学分野を幅広く学んでいきます。その中でも、特に長期を対象とした経済成長の理論分析と実証分析に焦点を当てて学びます。加えて、日本の長期的経済動向に重大な影響を及ぼしてくる社会保障問題についても取り上げています。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ゼミ生には友好的な方々が多い
- 主体的に授業に参加しやすい
- 授業は落ち着いた雰囲気
- コンパ等を通して、横だけではない縦の繋がりもある（回数は適度）

担当教員について：細谷 圭 教授

マクロ経済学、公共経済学、計量経済学、ミクロ経済学、日本経済論、数理統計学、社会保障論、COVID-19 研究

生徒と話すこと、関わることに積極的

わからないことやもっと知りたいことについて、一緒になって考えてくださいます

様々な手段で情報の発信・共有をしてくださいます

ゼミの中で一番のお喋りさんで、授業内外を問わず、その場を明るくしてくださいます

2. ゼミの志望動機

- マクロ経済を学んでいく中で、実際のマクロ経済の構造に興味を抱いた
- 物価や賃金の関係性などの、身近な経済的事柄に興味があり、理解を深めたかった
- 研究テーマに具体性を抱けていなかったが、研究範囲が多岐に渡るため
- 興味のある研究テーマのゼミ募集がなかったが、当ゼミでは研究テーマに寛容であった

3. -1 ゼミに入って感じたこと

- 人数が極端に多くないので授業に生徒が主体的に取り組める

- 疑問や質問をその場で先生に問うことができる
- プレゼン力が身につく

-2 こんな人にオススメ

- マクロ経済や社会保障、身近な経済現象に興味がある
- まだ興味のある研究テーマが定まっていない
- プレゼン力を向上させたい
- 大人数での授業や発表が苦手な人

4. 年間予算

教科書代としては年間で 3,000 円程度（英文テキストは先生が用意するため費用はかからない）

コロナ禍でしばらく合宿を行っていないが、行う際は年間で 1~2 万円程度

5. 年間スケジュール

演習 I (2 年後期)：日本経済論・統計学・社会保障論等の基本文献(日本語)の輪読

担当箇所を個人作業で要約や解説等を施し、授業時にパワーポイント(レジュメ)を用いて内容報告行う。

演習 II A・B(3 年)：中級マクロ経済学の世界的に著名な英文テキストの輪読

担当箇所のテキスト翻訳と内容の要約や解説等をペアやグループで協力して作成し、授業時にパワーポイント(レジュメ)を用いて内容報告を行う。
(人数の少ない学年は個人での作業)

演習 III A・B(4 年)：卒業研究

卒業論文の作成に当たり、自身のテーマに沿った卒業研究を個人で行う。

6. 歴代卒業論文のテーマ

- 「個人投資の増加が日本経済に与える影響」
- 「人間の意思決定と将来について」
- 「日本の医療費増における諸問題を診療報酬の観点から考える」
- 「e-sports が及ぼす経済効果について」
- 「移民の受け入れによる日本経済への影響」
- 「ジェンダーギャップとこれからの日本経済」 など

7. 自由記載

マクロ経済、社会保障等を中心に経済分野に関する事柄について幅広く学ぶことができます。マクロ経済や社会保障等に興味がある方、また、日常の中にある経済的現象につい

でも多く触れるので、興味のある分野がまだはっきりとしていない方や学科を問わず、経済理論や実証分析が学びやすい環境だと思います。ぜひ、話を聞きに来てください。



水無田ゼミ

◆研究テーマ：社会学

社会学・ジェンダー・経済学などのさまざまな視点から学びたい分野を研究できる。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ひと言でいうと：枠に囚われない
- ・ゼミ生について思うこと：おとなしい、メリハリがある
- ・先生について思うこと：博識！ユーモアがある！

2. ゼミの志望動機

- ・ジェンダーについて学んでみたかったから
- ・卒論のトピックを自由に決められそうだったから

3. ゼミに入って感じたこと・このゼミに入って良かったこと

- ・ゼミに入って良かったこと：レポートや文章を書くことが苦手でも克服できる！
- ・おすすめポイント：人前で簡潔に話すことが苦手でも経験して慣れることができる！
- ・こんな人がこのゼミに向いている：経済学をやりたいけれど細かい分野まで決まっていない人、社会学を学びたい人が向いている。

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・カルチュラルスタディーズや消費社会論についての基礎知識を身につける。教員による講義の後、その内容についてディベートを行い理解度を測る。
- ・テキスト読解に取り組む。担当ページごとに報告者と座長を決め、報告と討議を行う。

2. 演習 II A・B (3年生)

- ・アカデミック・ライティングの基礎を学び、その後ワークショップ形式のクリエイティブライティングを行う。
- ・ゼミ論テーマを決定し、報告を行う（前半ショートヴァージョン、後期からはロングヴァージョンとなる）。ゼミ論報告ターンでは、報告者、討論者、座長を定め学会報告形式で報告を行います。1月初頭にゼミ論を提出する。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

・ゼミ論をベースにした卒論内容を精査し、卒論の内容について報告を行う。報告形式は演習

Ⅱと同じ。1月初頭に卒論を提出する。

5. 年間予算

・演習Ⅰ：テキスト代として1562円（ジェリエット・ショア『浪費するアメリカ人』（岩波現代文庫）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

・インターネットがもたらした人間の攻撃性についての一考察

～コミュニケーションの変容を軸に～

・女の敵は女論の再考と女同士の絆の再認識

・「かわいい」の文化社会的検討

・広告の社会的影響力の考察

・コロナ禍でのインフォデミックによる弊害

～今後のインフォデミックへの対策～

・コロナ禍における音楽ライブ消費市場の変化についての考察

～配信ライブの増加と今後の見通しを軸に～

・新型コロナウイルスが明らかにした日本の医療体制の課題

～パンデミックの発生と混乱を招いた要因分析を軸に～

・日本人が韓流文化に熱狂する要因とは

～日韓市場やマーケティング戦略から探る～

・日本の空き家問題の検証

・放送メディアの変容についての一考察

～テレビ番組とネット動画配信の検証を軸に～

・流行が生み出す消費活動の変化

7. 自由記述

・水無田ゼミは、今まで私たちが行ってきたような授業形態ではなく、生徒自身が主体性を持って授業を作っています！特にディベートの授業では、自分の考えに囚われず、他のゼミ生の意見を聞いて触れることで人として成長ができます！

宮下ゼミ

◆研究テーマ：『新しい時代のマーケティング』

「現代企業のマーケティング」

国内外の企業のマーケティングや消費について学んでいます。2年生と3年生はインプットしたマーケティング知識をアウトプットする場として、外部コンテストに毎年出場しています。令和4年度に参加した外部コンテストは2年生、3年生が後期にそれぞれ同じ外部コンテストに2回参加しました。どのプロジェクトも比較的短い期間なので、限られた時間の中で仲間と切磋琢磨しながら最大限のアウトプットを求める経験がとても勉強になりました。



また、普段のゼミ活動は学年別に行っていますが、半期に2~3回ほど複数の学年が合同で研究報告会を行っています。マーケティングの理論に加え、実践（企業事例や消費の最前線）を同時に学びます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

マーケティングを実践的に学ぶことができるゼミです。先生のお話や教科書でマーケティング理論を学ぶとともに、『日経MJ』（日経新聞が発行しているマーケティング専門の新聞）でマーケティングのリアル(実践)をインプットします。また、外部のビジネスコンテストなど各種コンテストに向けて企画立案することで実践的に知識をアウトプットすることが出来ます。ゼミで参加する各種コンテストではグループで企画を立案することが多いため、仲間からの刺激を得ることができ、多様な視点を学び、物事を多角的に捉えることができるようになります。また、マーケティングに精通した先生からアドバイスをいただくことが出来るため、より高い水準で自分たちの企画を見つめ直すことが出来ます。

このように、アクティブラーニング型で授業を展開しているため、マーケティングを実践的に学ぶことができると同時に、主体性・協調性を磨くことができます。



2. ゼミの志望動機

・マーケティングを学びたい!

将来、マーケティングを使った仕事に就きたいと考えているため志望しました。なかでも宮下ゼミはただ知識を吸収するだけでなく、外部のビジネスコンテストなどを通じた実践的なマーケティングを学ぶことができるため、このゼミで学んでみたいと思いました。

・卒業生が多い!

私達の代は10期で、すでに200名ほどの卒業生がいます。さまざまな業界に就職している先輩方とお会いする機会や就職に相談に乗ってくださる機会があると聞き、志望しました。



・人として成長したい!

このゼミには毎年主体性を持ち、目標と向上心を持った学生が集まってきます。その学生たちと関わりながらお互いに切磋琢磨することで、自身の刺激となり成長に繋がると思いました。

3. ゼミに入って感じたこと

宮下ゼミに入ってよかったことは、ゼミの仲間から多くの刺激を得ることが出来ることです。頻繁に個人やグループが発表する場が設けられるため、自分にはない考えや視点を学ぶことが出来ます。また、発表の場が増えることで、人前で話す力が磨かれました。人に分かりやすく伝えて、自分が一番伝えたいことはどのように目立たせるか工夫を凝らすことが出来るようになりました。



さらには、卒業生がゼミに来て下さる機会や大々的な卒業生との集いもあります。先輩方がゼミを見守ってくださっているのも宮下ゼミの魅力です。

マーケティングに興味がある人はもちろん、自分の考えを広げたい人、好奇心旺盛な人、人と

話すことが好きな人にはオススメです。人前で話すことが苦手でも、機会が増えることで徐々に慣れていき成長することが出来ると思います。

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・教科書を用いた輪読・小テスト
- ・外部コンテストにグループで参加 (他大学主催ビジネスプランコンテスト)
- ・経済学部他ゼミとの交流プレゼン大会

2. 演習 II A・B (3年生)

- ・教科書を用いた輪読・小テスト
- ・「日経 MJ」の購読と毎週の発表
- ・個人研究：新しい商業施設を提案
- ・ゼミ内ビジネスコンテスト (複数学年)
- ・外部コンテストにグループで参加
 - ①次世代店舗をテーマとした企画コンテスト
 - ②他大学主催のビジネスプランコンテスト



3. 演習 III A・B (4年生)

- ・卒業論文の執筆
- ・日経 MJ を用いた発表
- ・ゼミの後輩にむけた就職活動の報告会

5. 年間予算

約 2 万円

(日経 MJ 新聞の定期購読と書籍購入等)

6. 近年の卒業論文テーマ例

- ・小売業のマーチャンダイジングに関する研究
- ・SNS マーケティングと消費者の購買行動に関する研究
- ・GAFA の成功要因に関する研究
- ・推し活を用いたマーケティングに関する研究
- ・行動経済学が消費者の購買行動に与える影響
- ・韓国アイドルからみるファンマーケティングに関する研究
- ・メディア視聴の変化からみるマスメディアの未来
- ・スポーツを通じたブランディングが 組織に与える影響

7. 自由記述

先生からの指導と仲間との協働作業によって、多面的な能力を鍛えられるゼミです。当事者意識と成長意識を持つことによって、大きく成長することができることを実感しています。一つひとつの小さな作業や学びを積み重ねていくことで、マーケティングのセンスや能力を磨き、将来はマーケティングを仕事にしたい学生が集まっています。ゼミにのぞむ姿勢や出席・課題の提出に関しては、先生は厳しいです。マーケティングの専門性を高める前に社会人としてのマナーや心構えも身に付けることができます。みなさんとゼミで一緒にできることを楽しみにしています。みなさんの応募をお待ちしております！

山本ゼミ

◆研究テーマ：経済地理学、都市地理学

1.ゼミ生から見たゼミの特徴

・ひと言でいうと…

「地域」という観点から自分の学びたい分野を追求できる！

・ゼミ生について思うこと…

みんなの仲が良く、調査などで助け合いながら活動しています。

・先生について思うこと…

山本先生は論文などの指導が非常に丁寧で、幅広い知識を持った博学の方です。

2.ゼミの志望動機

《将来の展望が決まっていた人》

・地域の祭りや行事などの地域文化や信仰に興味を持っていたから

《将来の展望が決まっていない人》

・漠然と「地域」という分野に興味があったから

3.ゼミに入って感じたこと

・先生との距離が近いので、頻繁に質問や添削を受けやすい

・地域系に限らず、様々な分野が研究対象になる

→アニメやプラモデルなどの地域産業や地域の伝統文化・芸能など、幅広い！

4.年間スケジュール

1)演習Ⅰ(2年後期)

・地理学に関する論文を読み、その内容についての発表を行う

2)演習ⅡA・B(3年生)

・それぞれの興味があるテーマを取り上げ、そのデータを収集して理解を深める

3)演習ⅢA・B(4年生)

- ・各自の研究テーマに沿って卒業論文を執筆する

5.年間予算

- ・特記すべき費用はありませんが、調査研究等でフィールド調査に行く際には交通費などがこれに該当します。
- ・特定の教科書は用いない為、テキスト代等はありません。

6.歴代の卒業論文のテーマ例

- ・熊本県八代市のい草産業
- ・群馬県中条町六合地区の花弁栽培
- ・埼玉県川越おスカラ座と地域
- ・静岡県大井川鐵道の事業戦略
- ・栃木県日光のシェアサイクリング事業の展開
- ・千葉県南房総の廃校利用の実態
- ・新潟県の御朱印巡りと観光

7.自由記述

山本ゼミでは全学年合同で毎週木曜日の4・5限で活動を行っています。全学年合同で実施している為、先輩方の論文を参考にしたり発表についてのアドバイスをもらいながら学習できます。



他の「陽キャ」ゼミのような雰囲気ではありませんが、この山本ゼミでしかできない学びや経験があります。

「地域」などに興味がある方や維新の研究分野を深めたい人の応募をお待ちしています！

経済学会学生委員会



冊子作成者

本橋直樹

鈴木羽奈